

東海教育オーディオロジー研究協議会

「きこえ」や「ことば」について一緒に考えましょう！

「教育オーディオロジー」ってなに？

「オーディオロジー」とは、一言で言うと「きこえ」について考える学問です。学問というと堅苦しくなりますが、例えば「どうして、夜になるとテレビの音を大きく感じるの？」などといった、身近なことについて考えるものです。

では、「オーディオロジー」に「教育」がつくとどうなるでしょう？

「先生や友達の声が聞きやすい教室にするには？」

「体育館や運動場での拡声器・ワイヤレスマイクの効果的な使い方は？」

「聴覚に障害のある子ども達に、よりよい音を聞かせるには？」

「きこえやことばを育てるためにはどんな支援ができるのか？」
などについて考えるのが「教育オーディオロジー」です。



設立趣旨（抜粋）

聴覚に障害を有する子どもたちにとって、聴覚の活用は大きな役割を担ってきました。聴覚活用とその支援は、聴覚障害児教育の重要な専門性のひとつです。（中略）近年、新生児聴覚スクリーニングやこれに伴う早期教育への対応として、乳幼児の聴覚面の評価や補聴技術の向上が求められています。また、デジタル補聴器や人工内耳、あるいは集団補聴システム等、機器の著しい進歩がみられます。その一方では、聴覚活用をめぐる価値観や教育方法が多様化し、子どもたちの聴覚活用を取り巻く状況は、急速に変わりつつあります。（中略）

このたび私たちは、聴覚障害児教育の基礎を支える「教育オーディオロジー」の充実と継承を重要な課題であると考え、聴覚障害児教育の一層の発展を願うべく、子どもたちの聴覚補償・聴覚管理・聴覚学習及びこれらにかかわる教育上の支援を「教育オーディオロジー」として確立し発展させることを目的に、「東海教育オーディオロジー研究協議会」を設立いたしました。（後略）

どんな研究・研修をしているの？



・夏期講習会〔8月初旬開催〕

教育オーディオロジーに関する基礎的・初級的研修を、少人数・体験型で行っています。

主な内容は、「補聴器の基礎」「補聴器の特性と調整」「音や声と聴覚学習」「発語発音指導」「補聴器の保守管理」「人工内耳の保守管理」「難聴理解授業」「福祉制度」「授業作り」などです。

講演会やショートレクチャーもあります。

・講演会〔2月初旬開催〕

これまでの講演テーマ

「聴覚障害児の日本語力の育成に向けて」

「発達障害を併せ有する聴覚障害児への指導・支援」

「日本語言語発達から見た難聴児の現状と今後の展望」

「読みの指導について」

「乳幼児期の聴覚障害児の言語、認知、コミュニケーション」 など

入会等の詳細に関しては各学校の事務局係又は下記メールアドレスまで

toukai_ed_aud[at]yahoo[dot]co[dot]jp

*迷惑メール防止のため、[@]は[at]、[.]は[dot]に代えて表記してあります。

ホームページもご覧ください <http://www.normanet.ne.jp/~tokai/>